

日本周産期・新生児医学会
専門医制度

母体・胎児専門医
資格更新認定申請書

2025 年 5 月

一般社団法人
日本周産期・新生児医学会

1. 母体・胎児専門医資格更新認定申請書

一般社団法人 日本周産期・新生児医学会
理事長 殿

受理年月日 年 月 日(事務局記載)

私は母体・胎児専門医認定の更新をしたく、所定の必要書類を添えて申請します。

[illegible]

2. 診療実績報告書(母体・胎児)

【記載上の注意】

施設の異動に関わらず, 5 年間の症例の有無を記入する.

経験症例 (指導した症例を含む)	経験症例
(1) 正常分娩の立会い	有 ・ 無
(2) 帝王切開 (うち緊急帝王切開) 立会い	有 ・ 無
(3) 合併症妊娠の診断と治療	有 ・ 無
(4) 異常妊娠の診断と治療	有 ・ 無
(5) 異常分娩における母体の管理と治療	有 ・ 無
(6) 産褥異常の管理と処理	有 ・ 無
(7) 産科感染症の管理と処置	有 ・ 無
(8) 産科麻酔 (無痛分娩含む)	有 ・ 無
(9) 健常新生児の管理	有 ・ 無
(10) ハイリスク妊婦・胎児に対する診断・管理・手術	有 ・ 無
(11) 胎児異常の診断と管理	有 ・ 無
(12) 胎児異常に対する治療	有 ・ 無
その他: 行政, 海外支援があれば下記に具体的に記入してください.	

3. 研修単位となる業績一覧

1) 取得単位集計表

【記載上の注意】

- 取得単位となる発表及び論文は、周産期・新生児学に関連するものに限る。
- 必須単位に該当する学会の参加・発表は、【必須単位】「1. 本学会が 10 単位と定めた学会の参加・発表」欄へ記入する。
必須単位でない学会または研究会での参加・発表は【その他の単位】の 2～4 に記入する。
- 発表単位は筆頭著者として発表した場合に限り記載でき、必ず掲載雑誌が確認できる抄録のコピーを 1 部添付する。
- 申請できる期間は前回の更新年の 8 月 1 日～2025 年 7 月 31 日までのものとする。ただし初めて更新する場合は、受験年の 6 月 15 日～2025 年 7 月 31 日までの期間の単位を申請できる。

【必須単位】				
[1. 本学会が 10 単位と定めた学会の参加・発表]				
(1) 日本周産期・新生児医学会学術集会	10 単位	参加	回	単位
	10 単位	発表	回	
(2) 周産期学シンポジウム	10 単位	参加	回	単位
	10 単位	発表	回	
(A) (1) ～ (2) の合計 (合計で <u>30 単位以上</u> が必須です)				単位
【その他の単位】				
[2. 本学会が承認した学会または研究会の参加・発表]				
(3) 日本小児科学会, 日本産科婦人科学会, 日本小児外科学会, 日本麻酔科学会, 日本新生児成育医学会, 日本新生児成 育医学会教育セミナー, 日本母体胎児 医学会, 日本糖尿病・妊娠学会, 日本 小児外科学会秋季シンポジウム, 国際 学会	5 単位	参加	回	単位
	5 単位	発表	回	
(4) 基本学会の地方会 研修単位となる学会・研究会	2 単位	参加	回	単位
	2 単位	発表	回	
[3. 学術論文]				
(5) 筆頭著者または corresponding author として発表 (要査読)	10 単位		編	単位
(6) 共著者として発表 (要査読)	5 単位		編	単位
(7) 筆頭著者として発表	5 単位		編	単位
[4. 講習会]				
(8) 蘇生法インストラクター(補助は除く)	5 単位		回	単位
(B) (3) ～ (8) の合計				単位
(A) + (B) 総合計 (<u>50 単位以上</u> 必要です)				単位

2) 学術集会参加記録簿

【記載上の注意】

1. 参加証の発行がない学会や研究会の場合、または参加証を紛失した場合、参加日、学会または研究会の名称、単位を記載し、上席者の署名を得る(受験要領 p7 参照)。スペースが足りない場合は、コピーして使用する。発表した場合は、抄録のコピーを添付する。参加証は、A4 サイズのものは本紙の後ろに添え、ネームホルダー等の小さいサイズのものは本紙に貼付すること。
2. 日本産科婦人科学会会員ポータルの「学術集会参加」ページのコピーでも可。その場合、右上に表示される氏名が確認できるように印刷をし、単位として申請する学会等にマーカーで印をつけること。

※研修単位として申請する際に補記のある学術集会／シンポジウムがある。詳細は受験要領 p2 の赤字参照する。

3. 論文は単位が不足している場合のみ添付。

4. 極力、必要単位以上の書類は添付しない。

参加日 (西暦)	学術集会出席証明書貼付	必須単位	その他の 単位
小 計		単位	単位
合 計			単位

3) 学術論文刊行記録(単位として申請する場合のみ提出)

【記載上の注意】

1. 査読の確認欄は、査読が必要な論文を単位として申請する場合のみ記入する。
2. 別刷(コピー可)を1部添付する。
3. 掲載予定の論文は、受理票及び論文のコピーを提出する。
4. 記載する論文は最多4編までとする。
5. 学術論文の単位は、すべて専門医認定委員会で審査を行うため、事前の問合わせは受付けない。

著者名，論題，誌名，発行年，頁の順に記入する.	
1	
2	
3	
4	
査読の確認	査読を受けていることを確認いたしました. 西暦 年 月 日 受験者名 _____

4) 新生児蘇生法講習会インストラクター記録簿(単位として申請する場合のみ提出)

【記載上の注意】

インストラクターをした場合のみ記入できる.

記載された内容の正誤判定や単位認定は,新生児蘇生法のデータベースを参照するため,証明書等の提出は不要.

インストラクター認定番号		— —	
開催日	開催地	コースの種類	単位
合 計			単位

専門医資格更新認定試験申請書類チェックリスト

下記の書類がすべて揃っているのかを
確認するためのチェックリストです。
このページは申請書類ではありません。郵送は不要です。

すべて専門医認定委員会の承認が必要となる		
書類	必須：○ 任意：△	チェック欄
1. 専門医資格更新認定試験申請書	○	
2. 診療実績報告書	○	
3. 研修単位となる業績一覧		
1) 取得単位集計表	○	
2) 学術集会参加記録簿	○	
3) 学術論文刊行記録 ※1), 2) で総合計 50 単位が満たせず、単位として申請する場合のみ提出	△	
4) 新生児蘇生法講習会インストラクター記録簿 ※1), 2) で総合計 50 単位が満たせず、単位として申請する場合のみ提出	△	
医師免許証（医籍）のコピー	○	
日本小児科学会または日本産科婦人科学会専門医認定証のコピー （現在有効）	○	